

京丹波町立和知小学校

学校だより No.13
(最終号)

平成29年3月24日(金)

Tel. 0771-84-9061

Fax.0771-84-1780

郷土に育ち 未来を創る 和知の子ども

和知の子ども

☆ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/wachi-es/cms/>で、学校だよりをカラーでご覧いただけます。☆

卒業証書授与式を終えて



修了式・進級式を迎えて

日ごとに春の陽気が増し、校庭の梅の花が、そしてパンジーやスイセンも花開き、柔らかな春の気配が満ちてきました。南国では、桜の花だよりも聞かれる頃となってまいりました。

23日(木)に第16回卒業証書授与式を挙行し、来賓・保護者の皆様のご臨席により17名の卒業生を送り出しました。在校生は、代表の5年生2名による送辞とお別れの歌「さようなら」で別れを惜しみつつ、卒業生の和知中学校等での活躍を祈念しました。また、本日は本年度の修了式・進級式を挙行し、1年生から5年生までの76名がそれぞれ次の学年に進級しました。おめでとうございます。

4月に入学した1年生も学校生活に慣れ、あどけなさの中にも自信溢れる言動が数多く見られるようになりました。わちエンジェルの幼児との交流の時にはお兄さん・お姉さんぶりを発揮していました。2月末には、5年生が中心になって感謝の気持ちを込めた『6年生送る会』を大成功に導きました。2・3・4年生も学年の発達にふさわしい成長ぶりを見せていました。それぞれの教室に掲示されている学習活動の記録や学習ファイル等を4月から順に読み返してみても、子ども達の頑張った場面が鮮やかによみがえり1年間の成長が実感できます。その場その場の機会に、喜びや悔しさなど心動かす出来事の連続でしたが、子どものよき変容(チェンジ)についてWatching(和っ知んぐ)したことを思い返すと、やはり「やったこと」「できるようになったこと」が多く、その努力や成長を確認できました。

さて、9月の京丹波町森の学び講演会以来、出勤後すぐに行う私の日課がありました。それは、葛西紀明著『日めくりレジェンドからの不屈のメッセージ挑み続ける力』をめぐることです。昨日23日は、

～楽しい、好きという気持ちが大事～

金メダルはもはや夢ではなく、超えていくもののひとつになっている。「ジャンプが楽しい、好きだ」という気持ちが大きいから長く続けられる。人は「楽しく好きなものを追求する」ことで幸せになれる

とありました。これからも、子ども達が楽しい好きなものを見つけ、追求してくれることを強く望みながら、卒業証書授与式に向かいました。学校はわくわくすることはいっぱいですが、それでも辛いことがあります。その辛い気分にも負けず元気に登校できた、皆勤の20名(93名中)がいました。元気に毎日登校できたことを本当に嬉しく思い、来年度も元気が一番の和知の子を目指し、小学校が大好きになってほしいと願っています。

後になりましたが、この1年間本校教育に対し、ご理解ご協力いただきましたPTA役員の皆様をはじめとする保護者・ご家族の皆様方に感謝申し上げます。修了に当たってのご挨拶といたします。ありがとうございました。

平成28年度京丹波町立和知小学校長 野口 博之



校庭の春を告げる梅の花と
ドッチビーで元気に遊ぶ子ども達



目次

- P1: 修了式・進級式を迎え
- P2: 平成28年度卒業証書授与式
卒業生の勇姿
4、5月の主な行事